

長なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和6年 11月 1日
第 16号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：82冊 1冊以上提出した児童数：38名 10月28日現在

11月の全校朝会（10月28日実施）では、目指す学校像：「夢と笑顔と『ありがとう』があふれる長幡小学校」と「3心」について、2学期前半を振り返って、どの程度達成できているか、子供たちに自己評価をしてもらいました。そして、そのことをもとに、2学期後半に向けての意識高揚を図りました。

一日一善 この言葉を聞く機会は、少なくなりましたが、全校朝会のまとめの言葉として子供たちに伝えました。

布施というのは、物でもお金でも、今それを必要としている人のために心を込めて捧げることです。

金品だけではありません。「愛語施」といって、出会った人や自分のそばにいる人にやさしい言葉をかけてあげるのも、お布施です。何も言わなくてもニコっとするだけでも、「和顔施」、電車の中で喜んで席を譲ってあげることも「壮座施（そうざせ）」といって、お布施の一つです。

一日一回でも誰かのためにやさしい言葉や笑顔で接したり、あるいは困っている人がいたら助けてあげたりするなど、善行を施す。（塩沢亮潤 著『日々初心、今がすべて』より抜粋）

児童への読み聞かせで大変お世話になっております。今後もよろしく願いいたします。

読書をとおして児童の豊かな心を育てたり、語彙力を高めたりと、ねらいは様々ありますが、一番の狙いは「読書好きの子にする」ことではないかと思えます。生涯をとおして読書に親しんでいける子になってくれれば最高です。

「読書をしないさい」と言えば言うほど、読書から遠ざかっていきます。家の中に本のある環境、家の中で誰かが本を読んでいる、そんな環境が子供を読書好きにするきっかけになるのではないかと思います。

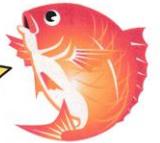
「1日10分の読書」からでも始めてみたらどうでしょうか。第一歩を踏み出すことです。

全校朝会(11月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校
～「3心」について～

○ 自分に負けるな

- 楽をしタイ ● 遊びタイ ● やめタイ
- 怠けタイ ● 苦しいことからは逃げタイ
- 休みタイ ● ずるをしたい ● ごまかしタイ



自分の中のタイを小さくするには……

「ぬいだ靴をそろえる」「落ちているゴミを拾う」「身の回りの整理・整頓をする」

「背筋を伸ばす」「廊下を静かに歩く」などからやってみるとよいでしょう！

“自分のわがままな心にブレーキをかける！”

○ うそをつくな

- ・悪いことをしてしまったとき、間違ってしまったときは、素直に認めて、謝ることがとても大切です。【正直・誠実】

○ 弱い者をいじめるな

- ・いじめは、人間としてとても恥ずかしいことです。
- ・弱い者を助ける、力になってやる。【正義の味方】
- ・自分がされていやなことは、人にやってはいけない。



読書の秋に！

読み聞かせボランティアの皆様には、

木曜日朝の読み聞かせ



芸術の秋を満喫！

10月29日（火）芸術鑑賞会（演劇）を実施しました。体育館に全校児童が集い、『どんぐりと山猫』と『注文の多い料理店』の劇を鑑賞しました。

（劇団：ブナの木）

劇を鑑賞する機会は、あまりないかと思います。役者さんたちが、目の前で演じる姿（表現力等）から、映画やテレビなどとは一味違った楽しさを子供たちは味わってくれたのではないのでしょうか。



どんぐりと山猫：きのこの合奏



注文の多い料理店：山猫



<お年寄りとの交流会>

地域のお年寄りに劇を鑑賞していただくことで、児童との交流会とさせていただきました。鑑賞後に4年生から感謝の手紙と鉢花を手渡すことができました。

食欲の秋！



知育・徳育・体育（知・徳・体）のバランスをとることの重要性はよく言われることですが

食育についてはどうでしょうか。人は食べることによって、生命を維持することができるわけですが、食べることにどれだけ意識を払っているのか。80歳でノーベル生理学・医学賞を受賞した大村 智 著『まわり道を生きる言葉』から、「食育」について書かれている部分を以下抜粋します。

明治期の医師であり薬剤師でもある石塚左玄（1851~1909年）が1896年に出版した『化学的食養長寿論』の中で初めて使った言葉である。左玄は、「人は毎日食べている食物によって健康を保っている」として、食べ物や栄養について学ぶことの重要性を説いた。日本は、2005年に食育基本法を制定して食育という科目を作り、学校栄養職員に教員の資格を与えた栄養教諭制度をスタートさせた。食育という授業をしている国は世界で日本のみである。学校給食という子供のランチを調理し、出来立てを食べる。これは、日本のソフトパワーとして世界に冠たる教育でもあるだろう。

【給食試食会】令和6年10月30日（水）

○給食試食

○1年生の給食参観（右の写真）

○講話～学校給食について～

本庄上里学校給食センター

栄養教諭 向井 未来実 先生

